

## 「川崎医学会誌」投稿規程

投稿申込書: [MS-W version](#), [PDF version](#)

1. 投稿者は原則として川崎医学会会員に限るが、対応責任著者 (Corresponding author) が会員であれば、会員外からの投稿も認める。
2. 原稿の種類は原著論文、症例報告に加えて総説なども受け付ける。他雑誌に投稿、掲載されておらず、またその予定のないものとする。
3. ヒトを対象とした研究などは、ヘルシンキ宣言およびこれに準拠した倫理規定に従い実施されていることが必須である。原則として関連施設の倫理委員会等の承認を得たこと、インフォームドコンセントが得られたことを論文中に記載する必要がある。動物を取り扱った研究においても施設内の動物実験に関連した委員会等の承認を得た旨を記載すること。
4. 投稿論文に関して助成金を受けている場合は、その旨を記載すること。特に企業製品の評価に関する論文に関して助成金を受けている場合や、conflict of interest (利益相反) に関する事項があれば、必ずその旨を記載すること。また無い場合は無い旨、記載すること。
5. 原稿は、電子媒体 (CDもしくはUSBメモリースティック等) にて提出する。
6. 論文のスタイルについて以下の項に従って記載すること。

(1) 投稿される電子媒体は、表題・抄録・本文・引用文献・図の説明を含む本文のファイル、表のファイル、図のファイルに分けること。それぞれ筆頭著者名と「本文」「表」「(パワーポイントであれば) 図」「(JPEGかTIFFであれば) 図と図の番号 (例: 図1)」をファイル名とする。  
例: 「大槻 本文」, 「大槻 表」, 「大槻 図 (パワーポイントの場合)」 「大槻 図3 (JPEG等の場合)」 など。

(2) 第1ページには、和文による表題、著者、全著者の所属機関部署 (部門あるいは教室名まで)、略題 (30字以内、running title 用)、和文キーワード (6語まで)、対応責任著者 (氏名、所属、住所、電話、FAX番号、Eメールアドレス) を記載のこと。複数の所属がある場合には、筆頭著者の所属先から順に 1), 2) …と著者名最後に上付きで表示し、所属機関欄には、1) ○○○大学△◇▽教室、2) …のように記載すること。

なお、川崎医科大学において、教室が倉敷市松島と川崎医科大学総合医療センターの両方に教室員が居る場合にも、責任著者の住所は、責任著者が通常診療を行っている所在地の住所を記載する。

(3) 第2ページには、英文による表題、著者、所属機関、英文key words (6語以内)、コレスポンディングオーサー (氏名、所属、住所、電話、FAX番号、Eメールアドレス) を記載のこと。複数の所属のある場合は、和文の記載法に準じること。

(4) 第3ページには、和文抄録 (800字以内) を掲載すること。抄録は「背景」「方法」「結果」などの区分を行わずに記載すること。

(5) 第4ページには、英文抄録 (500 words以内) を掲載すること。区分を行わないことは和文と同様である。

(6) 第5ページより本文を記載すること。原則として本文は原著論文の場合「緒言」「材料 (もしくは対象) と方法」「結果」「考察」に区分すること。症例報告では「緒言」「症例」「考察」に準拠すること。必要があればその後に「結語」「謝辞」を加えること。

(7) 引用文献は論文に用いられたものだけを挙げ、引用番号は引用順による。引用箇所 (文末の場合は句読点の前) に数字で表し上付き表示で、以下のように掲載する。

例: 高橋ら<sup>1)</sup>は…

…と指摘されているが<sup>1-3)</sup>、更に…。

…と報告されている<sup>1,5,7)</sup>。

(8) 引用文献の記載法は以下の例に従うこと。著者が10名までの場合には全員、11名以上の場合には、最初の3名を記載し、以後は、「他」, 「et al.」とする。雑誌名の省略は医学中央雑誌取載誌目録あるいはindex medicusに準ずる。ウェブサイトの場合はURLとともに投稿前最終アクセス日を記載すること。

➤ 雑誌論文 著者: 論文題名. 雑誌名 巻: 初頁-終頁, 年 の順に記載する。

1) 植木宏明: サルコイドーシスにおけるケプネル現象とその意味. 西日本皮膚科 66 : 1-5, 2004

2) 山口雅英, 幸田衛, 植木宏明, 他: 第VIII因子インヒビターによる後天性血友病を併発した尋常性天疱瘡. 西日本皮膚科65 : 223-226, 2003

3) Ueki H : Koebner phenomenon in lupus erythematosus with special consideration of clinical findings. Autoimmun Rev 4 : 219-223, 2005

4) Sone T, Yoshikawa K, Fukunaga M : Pulmonary tumor embolism from choriocarcinoma: detection with F-18 FDG positron emission tomography. Clin Nucl Med 33 : 773-774, 2008

5) Lenz G, Wright G, Dave SS, et al. : Stromal gene signatures in large-B-cell lymphomas. N Engl J Med 359 : 2313-2323, 2008

6) (Epub on ahead の場合: Epubの日付やdoiがあれば掲載) Liu W, Tanabe M, Harada K, Koizumi A. Levels of urinary isoflavones and lignan polyphenols in Japanese women. Environ Health Prev Med (Epub:2013.4.13), doi: 10.1007/s12199-013-0338-6 (e-pub on ahead).

7) (Epubのみの場合; Epubの日付やdoiがあれば掲載) Endo T, Kakeyama M, Uemura Y, Haijima A, Okuno H, Bito H, Tohyama C. Executive function deficits and social-behavioral abnormality in mice exposed to a low dose of dioxin in utero and via lactation. PLoS One (Epub 2012.12.12.) 2012;7(12):e50741. doi: 10.1371/journal.pone.0050741.

➤ 単行本 (単一著者による本の一部) 著者: 本の題名. 出版社の都市名 (海外の場合には国名), 出版社名. 発行年, 初頁-終頁 の順に記載する。

1) 佐々木和信: 解剖学ワークブック. 東京, 中外医学社. 2004, pp 10-50

2) Yoshihito Y : Cell membrane. Weinheim, Germany, Wiley-VCH Verlag. 2003, pp 27-46

➤ 単行本 (編者のいる単行本の一部) 著者: 章などの題名. 本の題名 (英語の場合には前に In を入れる) (編者). 出版社の都市名 (海外の場合には国名), 出版社名. 発行年, 初頁-終頁 の順に記載する。

1) 杉原尚: 臨床医による貧血の鑑別診断. わかりやすい骨髄病理診断学 (定平吉都, 編). 新潟, 西村書店. 2008, pp150-178

2) Gibbs GW, Berry G : Epidemiology and risk assessment. In Asbestos and its diseases (Craighead JE, Gibbs AR, eds). New York, USA, Oxford University Press. 2008, pp94-119

➤ ウェブサイトは、最終アクセス確認日を ( ) 内に附ける。

1) <http://www.mhhl.go.jp/topics/syokuchu/kanren/kanshi/040227-1.html> (2008.12.29)

(9) 度量衡の単位はl (リットル), dl, ml, kg, mg, µg, ng, m(メートル), cm, mm, µm, nm, hr, min, secなどを用いる。略語の後にピリオドを付けない。%, °以外の場合、数字と単位の間には半角スペースを空ける。三桁以上の数字では 1,000 のように三桁ごとに「,」を入れ

- る。
- (10)投稿論文には下段中央にページ数を入れること。
- (11)図表は本文とは別のファイルとする。表については、ワードファイルかエクセルファイルでの投稿が望ましい。図については、パワーポイント、JPEG、TIFF形式が望ましい。掲載に当たっては個別に出版社より形式を換えて提出を要求する場合もある。
- (12)表は、上部に表のタイトルを付け、表の中の略語の説明や表自体についての説明などは表下部に記載する。原則として日本語で記載する。なお表については印刷所にて一定の様式に調整することがあるので、留意されたい。表の説明を別紙に記載する必要はない。
- (13)図の説明は、図の下部等に記載せず、本文引用文献について、「改ページ」の上、順に説明を記載すること。原則として日本語で記載する。図の刷り上りは、原則として横幅約70mmまたは約142mmのサイズに統一される。投稿段階で、そのサイズで読解可能になるよう文字等の大きさに留意すること。一つの図を1枚に印刷して投稿すること（パネルA、Bなどを1枚ずつ分けずに投稿）。
- (14)図の番号は前記の通りパワーポイントであれば、スライド番号の順と判断される。またJPEGかTIFFでの投稿では、ファイル名に図番号を付けること。

7.掲載料等は以下のごとくする。

---

投稿料：無料

掲載料：刷り上がり15頁までは無料、それ以上は1頁2,000円

カラー図譜：無料

8.掲載論文は、PDFにて著者に届ける（無料）。印刷された別刷が必要な場合は30部まで無料とし、それを超えるものについては有料とする。

9.掲載された論文の著作権（copyright）は、川崎医学会に帰属する。

10.提出された論文の掲載の決定は peer review 制度を設け、2名以上の査読者による査読の結果を受け、編集委員会が行う。

11.非営利団体（大学、研究所等）の情報リポジトリによる掲載論文の公開は、EメールもしくはFAXによる請求と、それに対する川崎医学会よりの許可の連絡により、川崎医学会ウェブサイト(<http://www.kawasaki-m.ac.jp/soc/med/>)に掲載されている論文のPDFファイル利用を許可する。

12.原稿宛先は以下とする。

〒701-0192 倉敷市松島577

川崎医科大学 川崎医学会機関誌編集委員会（中央教員秘書室内医学会担当）

電話 086-462-1111, FAX 086-462-1199

13.投稿申込書：以下の投稿申込書をダウンロードして記載の上、投稿原稿とともに提出してください。なお投稿申込書には抄録の英語について校正者（Native Speakerに限る）によるチェック欄を設けてありますので、ご対応お願いいたします。

注.（2017年9月記）川崎医科大学大学院にて学位申請をされる予定で、本誌に投稿を予定されている方、甲号の場合には、申請年度の7月末日までに、乙号の場合には、予備審査の関係で、学位申請当該年度の前年度3月末日までに本誌へご投稿ください。

川崎医学会機関誌編集委員会  
編 集 委 員 長 殿

下記論文を 川崎医学会誌・Kawasaki Medical Journal に投稿します。

著 者 \_\_\_\_\_ (印)

論文題目：

著者：

English on this manuscript (this abstract) was checked by (Native Speaker / English Correction Company)

\_\_\_\_\_ Print

\_\_\_\_\_ Signature

※直接署名がもらえない場合には、タイトルが合致した論文を校正した、論文英語校正会社などの証明書を別に添えて、投稿してください。日付・タイトルなどがわかる書類をお願いします。

上記論文を詳細に検討した結果、投稿するに十分な内容であり、学術論文としての書式、論旨、討論また文献引用の方法なども適切であると判断します。

教室名 \_\_\_\_\_

所属長（指導教授） \_\_\_\_\_ (印)

以下の項目についてご確認ください。

- ・ヒトを対象とした研究では倫理に関する記載があるか。  Yes  適用外
- ・上記項目において「Yes」の場合、倫理審査申請書の初頁、ならびに、承認を受けた審査結果通知書、それぞれの写しを添付して提出のこと。  添付
- ・動物実験に関連した研究では承認されている旨の記載があるか。  Yes  適用外
- ・助成金がある場合、また利益相反がある場合はその記載があるか。  Yes  適用外
- ・学位申請用論文であるか。  Yes → (  主論文  副論文 )  適用外
- ・投稿規程に則っているか。  Yes
- ・著作権は川崎医学会に帰属することを承認するか。  承認する
- ・e-mail の掲載に不都合がある場合はあらかじめ申し出ること。  掲載可
- ・原稿の種類  原著論文  症例報告  総説  その他 ( )
- ・校了後にお届けする PDF データ以外に印刷物としての別刷が必要な場合、ご回答ください。  
別刷部数 (30 部まで無料) \_\_\_\_\_ 部 (表紙 (有料)  要  不要)